



読み聞かせボランティアが選んだ  
一度は読みたい絵本



冬が一段と深まってきたように感じられ、陽が暮れる速さから寂しい季節となりました。皆様体調はいかがでしょうか。日常生活が戻りつつある中、長くお休みしていた「おはなし会」も一部再開を始めました。完全な形での再開を願いながら少しずつ前進していきたいと思っています。

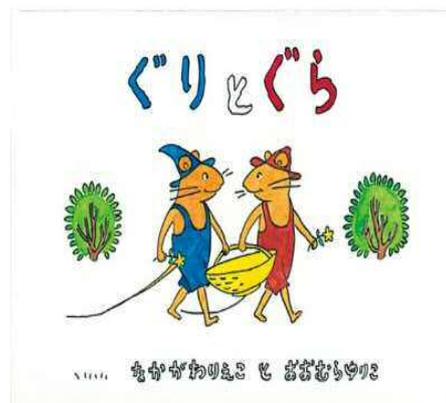
◎【ハーメルンの笛吹き男】 レナーテ・レッケ/作  
リスバート・ツヴェルガー/絵 BL出版

ある日町にねずみの大群が押し寄せ、一人の男が笛を吹いて町からねずみを追い払ったが、人々は男にお礼のお金を払わなかった。男は怒り笛を吹くと今度は町から子どもが消えた。当時ペストが流行した背景のお話。コロナ渦の今読みたい1冊。 《読み聞かせボランティアあいあい》



◎【ぐりとぐら】 なかがわりえこ/作  
おおむらゆりこ/絵 福音館書店

ぐりとぐらは森でおおきなたまごを見つけました。あんまりたまごが大きいのでその場に大きなお鍋を持ってきてカステラを作り始めたら、いい匂いに誘われて森の動物たちが集まってきました。残ったたまごのからは何に変身したかな？ 《読み聞かせボランティアおおきな木》



◎【くろねこかあさん】 東君平/作 福音館書店

くろねこかあさんから生まれた子猫が6匹。黒猫3匹、白猫3匹、みんな仲良く平等に大事に育てられています。白と黒のシンプルな切り絵とリズムカルな文章が楽しい絵本です。 《読み聞かせボランティアだるまさんの会》



ぜんぶ、川崎市立図書館に所蔵のある絵本です。貸出中でしたらごめんなさいね。大師図書館にない本は予約することもできますよ。大師図書館カウンターにお声をかけてください。  
プラザ大師 044-266-3550

